



「お客様の満足度 No.1 オーケストラへの挑戦」

セントラル愛知交響楽団ハイドンシリーズ

ハイドンの ロンドン精神

Vol.4

ミハエル・ハイドン
交響曲第39番ハ長調
ハイドン
交響曲第99番変ホ長調
ハイドン
交響曲第100番ト長調「軍隊」

やむを得ない事情で公演の中止または演奏曲目・曲順が変更になる場合がございますのでご了承ください。

指揮
角田鋼亮 (常任指揮者)

©Hikaru Hoshi

2023年12月8日(金) 18:45開演
(18:00開場)
[18:25～ 指揮者 角田鋼亮プレトークあり]

ザコンサートホール
名古屋・伏見・電気文化会館

TEL.052-204-1133 名古屋市中区栄2-2-5(地下鉄「伏見」駅より徒歩2分)

入場料(全指定席) 一般 4,000円 / U25 1,000円

※未就学児入場不可 ※U25席は座席指定不可、公演日に25歳以下対象、要身分証明書[当回事務局のみの取扱い]

発売日 一般9/13 会員先行9/11、12

※当団会員様は会員先行発売日のご購入・会員割引価格でのご購入が可能となります。[当回事務局のみの取扱い]

チケット取り扱い
・セントラル愛知交響楽団 TEL.052-581-3851
・愛知芸術文化センタープレイガイド TEL.052-972-0430

お申込み
お問合せ

セントラル愛知交響楽団 TEL.052-581-3851 (10:00～17:30/土日祝休)

ホームページからもお申込みいただけます。
<https://www.caso.jp>



主催/公益社団法人セントラル愛知交響楽団 後援/愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会 助成/公益財団法人アフィニス文化財団



ハイドンの ロンドン精神

Vol.4

ハイドン・シリーズも後半に入ってきました。音楽的に一つの区切りがあり、ここから聴き始めて頂いても十分に楽しんで頂けると思います！第99番以降、編成にクラリネットが加わり、響きがより充実していきます。新たな音色の獲得は、楽想や和声に変化をもたらします。より大胆で、刺激が加わった音楽をお楽しみ下さい。まず第99番はモーツァルトの第39番を思わせる堂々とした出だし。個人的には舌を出したハイドンが見え隠れする第3楽章、第4楽章が楽しいです。第100番は更に打楽器が加わる編成。ハイドンのスピリットにのっかって、楽団員と色々な仕掛けをご用意したいと思います。

ミヒャエル・ハイドンはフランツ・ヨーゼフ・ハイドンの5歳下の弟。モーツァルトと楽友で、沢山の影響を与え合いました。彼の第39番の交響曲はモーツァルトの「ジュピター」交響曲に音楽の種を与えたとも言われています。最近実演の機会も増えてきたこの作曲家にも是非ご注目下さいませ。セントラル愛知響の機動力を活かした、そして「電気」を起こすようなハイドン演奏をご期待下さい！

セントラル愛知交響楽団常任指揮者 角田 鋼亮

「ハイドンのロンドン精神」では、豊富な音楽構成と管弦楽としての響きが充実したハイドンの名曲の中から、交響曲確立期と言われた晩年の「ザロモン・セット」(全12曲)に焦点を当て、同時期に活躍した作曲家の交響曲も取り上げています(全6回)。

[指揮] 角田鋼亮 (常任指揮者) Kosuke Tsunoda

東海高校卒業後、東京芸術大学大学院指揮科修士課程並びにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2002年、安宅賞受賞。2006年、第3回ドイツ全音楽大学・指揮コンクールで最高位を獲得。2008年、カラヤン生誕100周年記念の第4回ドイツ全音楽大学指揮コンクール第2位入賞。2010年、第3回マーラー指揮コンクールにおいて最終の6人に残った。これまでに、ベルリン・コンツェルトハウス管、ブランデンブルグ響、上海歌劇院管、札幌、山響、仙台フィル、群響、N響、読響、都響、東響、東京フィル、日本フィル、新日本フィル、東京シティ・フィル、神奈川フィル、名古屋フィル、セントラル愛知響、中部フィル、愛知室内オケ、アンサンブル金沢、京響、大阪フィル、日本センチュリー響、大響、兵庫PAC、広響、九響と共演している。

2015年よりセントラル愛知交響楽団の指揮者を務め、2019年より常任指揮者に就任。2016-2020年 大阪フィルハーモニー交響楽団指揮者、2018-2022年 仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者を歴任するなど、いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として各地にて活躍の場を拓いている。2016年「第11回名古屋ベンクラブ音楽賞」、2020年「令和元年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞」「名古屋市文化振興事業団第36回芸術創造賞」を受賞。セントラル愛知交響楽団とのCD「クラマニノフ交響曲第2番&モシュコフスキ組曲「諸国から」><エルガー:エニグマ変奏曲>をオクタヴィア・レコードよりリリースしている。

<http://kosuketsunoda.com>

セントラル愛知交響楽団 Central Aichi Symphony Orchestra

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名。2009年一般社団法人となり、2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2023年創立40周年を迎えた。

2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田鋼亮が就任。名誉音楽監督にレオシュ・スワロフスキー、桂冠指揮者に小松長生、特別客演指揮者に松尾葉子、首席客演指揮者に齊藤一郎、正指揮者に古谷誠一を擁し活動を行う。2023年度はアソシエイトコンダクターとして松川智哉、リカルド・A.ゴンザレスが就任。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、第九公演の他「超!有名曲」「Wコンチェルト」等の各シリーズを自主公演として展開。バレエ、オペラ等の依頼公演にも数多く出演し、独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組んでいる。海外(2007年中国・2009年タイ・2017年韓国)でも公演し成功を収める。

2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ベンクラブ賞」受賞。

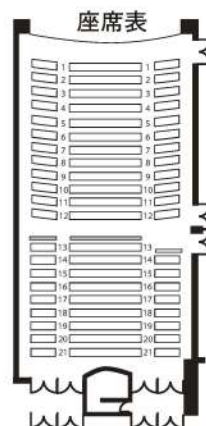
Vol.5~6のご案内 (会場) 電気文化会館ザ・コンサートホール

指揮/角田鋼亮(常任指揮者)

Vol.5 (2024年) ポツゲリーニ:交響曲二短調Op.37No.3 / ハイドン:交響曲第101番ニ長調「時計」
ハイドン:交響曲第102番変ロ長調

Vol.6 (2025年) クラウス:交響曲ハ短調VB142 / ハイドン:交響曲第103番変ホ長調「太鼓連打」
ハイドン:交響曲第104番ニ長調「ロンドン」

やむを得ない事情で演奏曲目・曲順が変更になる場合がございますのでご了承ください。



〈お願い〉

■ 発熱や体調不良の場合はご来場をお控えください。■ 出演者への贈り物・面会はご遠慮ください。